学校番号	328

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「日本史探究」（実教出版）						
副教材等	図説日本史通覧（帝国書院）　　要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合と日本史探究で得た歴史の学び方をふまえ、資料を活用した学習を充実させ、より発展的に学習する。全般的に詳細な内容を学ぶとともに、生徒の興味・関心を高めながら、日本の歴史について理解・考察を深める。その上で日本の諸課題について、その解決方法を探究する力を育てることをめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2部　中世の日本と世界	第 3 章 中世の国家・社会の変容	a: 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。 b: 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、中世の国家・社会の変容について、多面的・多角的に考察し、表現する。 c: 中世の国家や社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

	第3部 近世の日本と世界	第 1 章 東アジア世界の変容と天下統一	a: 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 b: 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家 ・ 社会の変容を多面的 ・ 多角的に考察し、表現する。 c: 織豊政権の成立前後からの歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
2学期		第 2 章 幕藩体制の成立と展開	a: 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、産業の発達、近世の社会と文化の特色を理解する。 b: 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通 ・ 流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係、社会・経済の仕組みの変化、などに着目して、近世の国家・社会の展開について、多面的 ・ 多角的に考察し、根拠を示して表現する。 c: 近世の国家・社会の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

		第 3 章 近世の国家･社会の変容	a: 産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 b: 社会･経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、近世の国家・社会の変容について、多面的 ・ 多角的に考察し、根拠を示して表現する。 c: 近世の国家・社会の変容に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度
3学期	第4部 近現代の地域・日本と世界	第 6 章 戦後日本の形成	a: 領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会･経済･情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治･経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解しする。 b: 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、国民生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、多面的･多角的に考察し根拠を示して表現する。 c: 戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

		第 7 章 グローバル化のなかの現代日本	a: 社会･経済･情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 b: 冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、政治の展開、日本経済の発展、国際社会における我が国の役割について、多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。 c: 現代日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度